

里建設第601号

平成20年10月10日

国土交通省道路局長 殿

里庄町長 大内 恒 章



今後の道路行政についての意見・提案について

このことについて、別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式①
岡山県里庄町

【ハード面】

- ・ 広域交通網の整備による広域的な交流促進
- ・ 渋滞緩和のための道路整備
- ・ 地域産業の発展を考慮した道路整備
- ・ 地域の拠点から、幹線道路（高速道路・高規格道路等）までのアクセス道路の整備

【ソフト面】

- ・ 高速道路の無料化又は料金引き下げ
- ・ 道路渋滞情報の充実（VICS情報を地域の道路にまで拡大）

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式②
岡山県里庄町

○現状

- ・ 国道2号線の慢性的な渋滞
- ・ 生活道路への通過車両の進入
- ・ 幹線道路間のアクセス道路の未整備
- ・ 隣接主要地域との地域間道路の未整備
- ・ 踏切と隣接した交差点（通学路）の未整備

○課題

- ・ 早期の4車線化又はバイパスの整備
（玉島笠岡間道路の早期事業化）
- ・ 通過車両を主体とした道路整備
（町道里見229号線交付金事業の十分な予算配分）
- ・ 連絡道路の早期整備
（浜中バイパスの早期着工）
（県道六条院東里庄線）
- ・ 地域間道路の早期整備
（町道里見674号線の早期着工）
- ・ 右左折レーンの早期整備
（県道園井里庄線西小前交差点改良工事の早期実施）

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

様式③

岡山県里庄町

- ・ 里庄町は、産業の町として発展しており、商工業関係（特に製造業）の企業立地が進んでおり、製造品出荷額（平成１８年度３，２１０億４千万円）においては県内第３位を誇っている。今後も、この傾向は続くものと考えており、物流の要となる幹線道路の整備により、物流の効率化が図られ、里庄町の産業の発展に繋がるものと考えている。
- ・ 公共交通機関が少ない里庄町の道路は、ほとんどが生活密着型道路（幅員が狭い）であり、今後は生活基盤としての道路整備（基幹道路、及び車が離合できる道路等）が必要と考えている。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式④
岡山県里庄町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
広域的な交流促進 及び渋滞緩和	玉島笠岡間道路及びアクセス道路（県道六条 院東里庄線）の整備促進	渋滞が慢性化している国道２号線の渋滞緩和により、町内企業及び雇用促進による地域の活性化、交通事故、騒音、大気汚染、 ＣＯ２の排出を軽減	
	県道園井里庄線（浜中バイパス）の整備促進	山陽自動車道（笠岡ＩＣ）～国道２号線間の通過交通の円滑化及び生活道路への進入抑制	
	町道６７４号線の２車線化及び交差点改良	ボトルネックの解消による交通の円滑化及び交差点での事故防止	
安全・安心の確保	県道園井里庄線西小入り口付近の右左折専用 レーンの設置	朝夕の通勤通学時間帯における、通学児童の安全確保	
	町道里見２２９号線（バイパス）の整備	浅口～笠岡間における通過交通の生活道路への進入を抑制し、渋滞を緩和するとともに、地域住民の安全確保	

道づくりビジョン（見直し案）について

IV ソフト対策による効率的効果的な道路利用の促進

的確な道路情報の提供 の中に、渋滞情報も追加してはどうか